

2017-B

II 30B

拠出金・基金
の名称

アジア太平洋クリーン・エア・パートナーシップ拠出金

種 別

☒イヤマークのみ ☐一部イヤマーク

【拠出先の国際機関名】国連環境計画アジア太平洋地域事務所 (UNEP ROAP)

【所管官庁担当局課・室名】環境省水・大気環境局大気環境課

【当該任意拠出金の目的・用途等】

科学パネルを設置して、科学的知見の充実・評価、科学に基づく解決策をまとめた報告書(2018年に発表予定)の作成等を行う。

関係者が一同に会する合同フォーラムを開催して、経験の共有、大気に関する様々な地域的取組(EANET, LTP等)の効果的な連携等を促進する。

【最近3年間の我が国支払額及びODA率】

単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千米ドル)	外貨2 (千)	レート	ODA率(%)
平成29年度	38,500	350		1米ドル=110円	0
平成28年度	42,000	350		1米ドル=120円	0
平成27年度	38,500	350		1米ドル= 110円	0

【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】

アジア地域では、急激な経済成長に伴い、PM2.5等の大気汚染が問題となっており、我が国への越境大気汚染が顕在化しているが、2014年当時、アジアにおいては、大気に関する知見の集積等を統合的に行う国家間の枠組みが不在であったため、日本国環境省はUNEP-ROAPと協力してアジア太平洋クリーン・エア・パートナーシップを立ち上げた。

これまで同パートナーシップにおける活動を通じて、アジア地域における知見の集積・普及等が進められ、また、アジア地域における大気汚染問題の共通認識が熟成され、連携した研究・調査・対策検討の必要性が認識されつつあるところであり、当該任意拠出金はアジア地域の大気環境改善及び我が国への越境大気汚染軽減に大きく貢献しているものと評価される。

【備考】